

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

1 総評

公立大学法人福岡県立大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質をもった優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

法人化5年目である平成22年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目中1項目（社会貢献）について、「特筆すべき進捗状況にある」と評定、他の6項目（教育、研究、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成22年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

平成18年度に法人化し6年目を迎え、中期目標期間の最終年度に入っている。これまでの業務実績の分析・評価結果を踏まえ、今期の中期目標の着実な達成に努められたい。

福岡県立大学は、これまでに地域と連携した取組で着実な成果をあげてきており、社会貢献に関しては、平成22年度の業務実績においても計画を上回る取組等が多数認められたところであり、特筆に値する。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、貴大学の理念の実現を目指して、教育・研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、順調に進捗している。

教育について、「就業力向上を目指す社会貢献支援プログラム」が文部科学省の平成22年度大学生の就業力育成支援事業に選定されており、教育内容の充実に積極的に取り組んでいる。

社会貢献については、大学の知的資源を活用した各種の健康教室や資格・免許保持者へのリカレント教育、不登校・ひきこもりサポートセンターにおける相談事業及び教員対象研修事業、社会貢献・ボランティア支援センターにおける社会貢献活動支援等に積極的に取り組んでおり、地域に貢献する大学としての認知度の向上に繋がっていることを高く評価する。

福岡県立大学の特色となる人間社会学部と看護学部の連携についても、教育プログ

ラムの充実を図るなど、着実な進捗が認められるところであり、今後の一層の発展に期待する。

3 財務状況

財務の状況については、自己収入の増加、経費の節減の双方の取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成22年度の業務実績については、着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

（1）教養教育の充実

- ・学生の視点を取り入れた教養演習テキストを改訂出版するなど、教養演習の改善・実施に努めている。

（2）専門教育の充実

- ・人間社会学部において、実践的体験学習機会の導入科目が24科目に増加し、学生による授業評価においても高い評価を得ている。
- ・看護学部において、独自性を打ち出したカリキュラムの策定等、工夫に努めているが、学生の成績が低下しており、向上のための取組が必要である。
- ・両学部の学生と一緒に学習する教育プログラムを単位認定科目として実施し、学生の成績も良好であったことを取組の成果として評価する。
- ・日本臨床心理士認定協会指定大学院第1種校として運営を開始した。
- ・「就業力向上を目指す社会貢献支援プログラム」が文部科学省の平成22年度大学生の就業力育成支援事業に選定されており、キャリア教育の充実に積極的に取り組

んでいる。

(3) 教員の教育能力の向上

- ・両学部が一体となったFD活動(※)強化の取り組みを積極的に行い、教員参加率の向上や学生による授業評価の改善が見られたことを評価する。

※FD(ファカルティ・ディベロップメント)

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称。

(4) 学生の確保

- ・オープンキャンパス、入試説明会、高校訪問等、入試広報活動の取組を積極的に実施している。

(5) 成績評価

- ・社会福祉士、精神保健福祉士、看護師及び保健師の国家試験合格率について、高い水準を達成しており、取組の成果として評価する。

(6) 学生への支援

- ・1、2年生を対象としたキャリア形成支援講座の実施、キャリアサポートセンターでの講座開催等、就職支援の強化に努めている。

2 研究

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・附属研究所において、生涯福祉研究センター(人間社会学部)、ヘルスプロモーション実践研究センター(看護学部)の独自の研究プロジェクトや両学部連携による共同研究プロジェクトに積極的に取り組み、数値目標を上回る実績をあげている。
- ・外部研究資金への応募件数、獲得件数がいずれも数値目標を上回っており、取組の成果として評価する。

3 社会貢献

評価	5 : 中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
----	-----------------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施するとともに、目標を

大幅に上回る取組や中期計画に掲げる事項以外にも社会貢献に関する積極的な取組が認められたことから、特筆すべき進捗状況にあると判断し、5と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・不登校・ひきこもりサポートセンターにおいて、教員対象の研修回数及び参加者が目標を大幅に上回り、学生による県大子どもサポーターの派遣事業やキャンパススクールの受入等の活動も活発に行われていることを高く評価する。
- ・大学の知的資源を活用し、地域住民の健康の向上のための各種健康教育事業や資格・免許保持者等に対する講習会、シンポジウム等の開催、生涯福祉研究センターにおける福祉・教育・健康の相談事業等に積極的に取り組んでいることを評価する。
- ・社会貢献・ボランティア支援センターにおいて、学生による社会貢献活動の支援に積極的に取り組んでいることを評価する。
- ・アジアの大学との学術交流に取り組み、新たに韓国の三育大学校と交流協定締結に至ったことを評価する。
- ・田川市との包括連携協定を締結しており、更なる地域貢献に向けた取組の推進を期待する。

4 業務運営

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・実習事故の防止や感染症及びインフルエンザ対策、学生の健康管理の強化等、安全管理体制の充実に努めている。

5 財務

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、数値目標を大幅に上回る収入実績をあげていることを高く評価する。
- ・退職教員の後任を若手教員で補充するなど人件費抑制に努めた結果、数値目標を上回る実績をあげている。

- ・メール便利用の促進により、通信費の節減を図り、数値目標を上回る実績をあげている。

6 評価

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価及び個人業績評価の実施と改善に努めている。
- ・独立行政法人大学評価・学位授与機構による認証評価において、「大学評価基準を満たしている」との評価を受け、さらに改善を要する点が無かったことを評価する。

7 情報公開

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・学校教育法施行規則改正により義務化された大学の「教育情報の公表」について、ホームページへの掲載を完了するなど、情報公開に努めている。